



生活文化



施設

51  
まいん

# せんじゅてい 泉寿亭



移設された泉寿亭

もてなしの心で  
ことば あずまや  
寿ぐ亭

## せんじゅてい 泉寿亭

は、昭和12年(1937)、別子銅山開坑250年記念のお客様を迎えるために住友企業によって建てられた京風数奇屋造りの味わい深い純和風の接待館です。



泉寿亭内部

住友由緒の「泉屋」<sup>ことほ</sup>を寿ぐ(祝うという意味)館として、泉寿亭と名づけられました。

別子銅山開坑300年を目前にした平成3年(1991)、その敷地に図書館(新居浜市立別子銅山記念図書館)を建設するため、現在の地マイントピア別子端出場ゾーンへ移築されました。



木の薫り漂う廊下

玄関近くに咲くシャクヤクが見ごろを迎える5月中旬には、お茶席が設けられ、多くの観光客が訪れ一時の安らぎの場となっています。



別子銅山記念図書館(旧泉寿亭跡)



茶道用の囲炉裏



廊下から見た和風庭園

ところで、元泉寿亭敷地内に建設された別子銅山記念館は、平成4年(1992)別子銅山開坑300年を記念して住友グループ21社から新居浜市へ寄贈されました。

敷地面積は13,390平方メートル、床延面積3,072平方メートル、収容冊数約28万冊です。

